

令和7年第1回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和7年1月24日（金） 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室

出席委員 教 育 長 岡 田 庄 二
教育長職務代理者 樋 田 千 史
委 員 西 尾 修 欣
委 員 村 松 訓 子

欠席委員 委 員 小 栗 秀 子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 工 藤 博 也
事務局長 鈴 村 幸 宣
事務局次長兼学校教育課長 丸 山 頼 彦
教育総務課長 瀬 瀬 千 尋
教育総務課総務係担当係長 志 津 博 光

日程第1 会議録署名者の決定
日程第2 会期の決定
日程第3 会議録の承認
日程第4 教育長の報告
日程第5 議事

議 事	案 件 名	結 果
議第1号	恵那市体育功労賞表彰規程の廃止について	可 決

開 会（午後1時30分）

教育長 それでは定刻になりましたので、令和7年第1回恵那市教育委員会定例会を始めます。お願いします。

本日、小栗委員は、欠席の連絡を頂いておりますので、よろしくお願いたします。

1 会議録署名者の決定

教育長 日程第1、会議録署名者の決定です。村松委員と樋田委員、よろしくお願いたします。

2 会期の決定

教育長 日程第2、会期の決定。令和7年1月24日、1日間です。

3 会議録の承認

教育長 日程第3、会議録の承認です。お手元の会議録で修正等ありましたら教えてください。よろしくお願いいたします。

委員 ありません。

教育長 では、修正なしということで、よろしくお願いいたします。

4 教育長の報告

教育長 日程第4、教育長の報告です。

12月21日に、下田歌子賞の表彰式がありました。そのときのエッセイの一般の部で最優秀賞を取られた方が、岡山県の藤井さんという方なのですが、88歳のお方です。88歳の誕生日、8月8日生まれだそうですけど、「8888」と続くので、「とてもいいね」と周りで言われていました。その方のエッセイの中でとても心に残ったのが、その方のお母さんの言葉です。幼い頃からずっと言われたある言葉で、これから先、その言葉を大切にして生きていこうと思ったという話の中で、いろいろと語られました。そのお母さんが言われたのは、「人のために働く人になるといいね」ということです。ご兄弟がみえるのですが、ご兄弟はそれぞれ、こういうことをやりたいというのがはっきりしていたのですが、藤井さんご本人は、まだ幼かったので、はっきりしていなかったから、お母さんがそう言われたと。それで、その言葉を大事に生きてきましたとおっしゃっていました。今は、子供たちのいろいろな学習の場を提供することを中心になってやってみえる方で、非常に静かな語り口調でしたけど、よいお話でした。

それから、12月28日に成島監督のトークショーがあって、そのときに「どんな人が一流になっていくか」というお話の中で、「やっぱり好きっていうことが一番大事だ」と。好きじゃない人はどれだけ指導などいろいろしても、どうしても受け入れてもらえないことがあるのだけど、好きで極めようとしている人は伸びていくというお話でした。校長会でも、「本当に今の先生たち、みんな教員という仕事が好きなのだろうか」という話を投げかけながら、人材育成の中で、「やっぱり好きだ、この仕事が好きだ」って、そういう人を育てていくことが大切かもしれないねというようなお話をさせていただきました。

年が明けて、1月4日、5日に今年も演技ワークショップをやらせていただきました。2日間それぞれ違うコースを見させてもらったのですが、やっぱり全部のコースを見させてもらおうと、それぞれのレベルというか参加者に合わせてやってみえるなということがよく分かりました。特にアクターというか、そういうものを目指している人たちにまず言われたのは、「感謝の気持ちがない人は駄目」ということ。ここでも「感謝」ということを、秦さんが言われて、やはりどこでもそういう気持ちは大切なのだなということを思いました。ワー

クシヨップを見ていて、来年度は、教員用にこの演技ワークショップを夏休みぐらいにやれるといいなど、今、少し思っているので、そんな計画もしているところです。

1月12日には、二十歳を祝う会 恵成式と小平奈緒さんのスケート教室がありました。スケート教室の方には、競技者が36人、小中学生が81人参加しました。また、詳しいことはスポーツ課の担当の方から話があるかもしれませんが、市外からの参加者が少し多かったので、できたら、やっぱり恵那市の子がもっともって行ってもらえるといいなということで、そんなこともちょっと工夫が必要だと思いました。それから、その後の恵成式は、教育委員の皆さんもご参加されたと思いますが、やっぱり、ここでも代表者や委員長から「感謝」や「人のために」という言葉がありました。どの人も「こういう職に就きたい」とか「こういう仕事をやっている」ということがはっきりと言えるような成人というか、二十歳の子たちだったので、とてもいいなと思いました。改めて、様々な服装とか、髪の毛の色とか、いろいろな子がいたのですけれども、例えば、座席の座るところが下りているところを通るときに、自然に手で上に上げてという姿を見て、そんなことができるというのは教育のたまものであるとは思いますが、どの子もとてもいいふうに育っていると思いました。荒れる成人式が、よくニュースになるのだけど、恵那市、本当に落ち着いていて、ありがたいなと思いました。

それから、学校と市教育委員会の懇談会では、各教育委員さんにご出席いただきありがとうございます。今年も昨年度と同じような感想を持ちましたけど、学校が確実にやりたいことをやり切って、来年度の目標等も明確になっています。今年、割と共通して校長先生方が言ってくださったのが、「個をもっと鍛える」というか、分かりやすい言葉で、恵那西中学校の校長先生が言ってみえますけど、「なりたい自分」というか、そういうことに迫っていける子供たちにしたいということでした。ほかの学校も表現は違うのですが、それぞれ一人一人がもっと目標を持って毎日の生活をしていけるようになると、それが主体性につながっていくというところで、もっと個を鍛えたいという話が出たのがよかったと思います。来年は、市全体でもって校長会等でもそういう話を続けてしていきたいと思いました。

1月17日には、全国ICT教育首長サミットがあつて、昨年度も出させてもらいましたが、今年度は昨年度から3ランクぐらい上がれて、協議会の会長賞をいただきました。そこでは発表の場をいただけて、5分ぐらいで発表したのですが、ICT教育は本当にいろいろな取組があつて、恵那市は着実に進めているなという感じを受けて帰ってきました。

それから、1月22日に、恵那南高校の学校運営協議会に行ってきました。ここでは、「総合的な探究の時間」の発表等もありました。ちょっとびっくりしたのは、そのときにもらったスクールガイドというもので、「なりたい自分に出会う」とあつて、ここでも「なりたい自分」ということで、やっぱり、目標を持たせてやるのが、いろいろな活動のエネルギーのもとになるというか、

もうそこが本当に大切だなと思って、改めて、高校もこういうことに力を入れている。小中学校も、それぞれ発達段階とかあると思うのですが、こういうことを大切にしていきたいと思いました。併せて、これから人数が減っていく中で、高校がどんなふうに残っていくのかということが話題になったのですけれども、やっぱり、地域に高校があるというのも非常に大切なので、これからは、教育委員会というか市として支援できることは支援していくといいなと思いました。報告は以上です。

5 議事

- 教育長 それでは、日程第5、議事に移ります。
本日の議案は1つです。よろしくお願ひします。
議第1号恵那市体育功労賞表彰規程の廃止について、事務局からお願ひします。
- 事務局長 議第1号恵那市体育功労賞表彰規程の廃止について説明。
- 教育長 では、ただいまの説明について、ご質問等あればお願ひします。
- 西尾委員 廃止だけが、定例会で取り上げられるわけですか。
- 事務局長 そうです。まず、現在の教育委員会告示の廃止の議決をいただき、その後は、教育委員会告示ではなく、市告示で同じ日に規程を制定していくという流れになります。
- 樋田委員 体育功労賞表彰がなくなるということではないのですね。
これはあるのだけれども、その規程が、教育委員会から市の方へ移っていくということですね。
- 事務局長 そうということです。
- 樋田委員 はい、分かりました。
- 教育長 ほかにご質問はよろしいですか。
では、本議案については原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
- 委員 異議なし。
- 教育長 ご異議なしと認めます。よって、議第1号は原案のとおり承認することに決定しました。
それでは、本日の定例会での議事は全て終了しましたので、令和7年第1回恵那市教育委員会定例会を閉じます。ありがとうございました。
午後1時43分閉会を宣言。

令和7年1月24日

教育委員 村松訓子

教育委員 樋田千史